

ケミクロンG

(CHEMICHLON G)

構造式 $\text{Ca}(\text{ClO})_2$
(次亜塩素酸カルシウム)
calcium hypochlorite

性状 類白色水溶性顆粒

有効成分 次亜塩素酸カルシウム(有効塩素70%以上)

包装 500g×24本

■特長

1. 本剤はさまざまな病原菌に対し強い殺菌力を持っており、農業用資材や用水の消毒に効果を発揮します。
2. 使用方法が簡単でしかも薬剤はすみやかに分解消失します。



製品の詳細情報

■使用方法

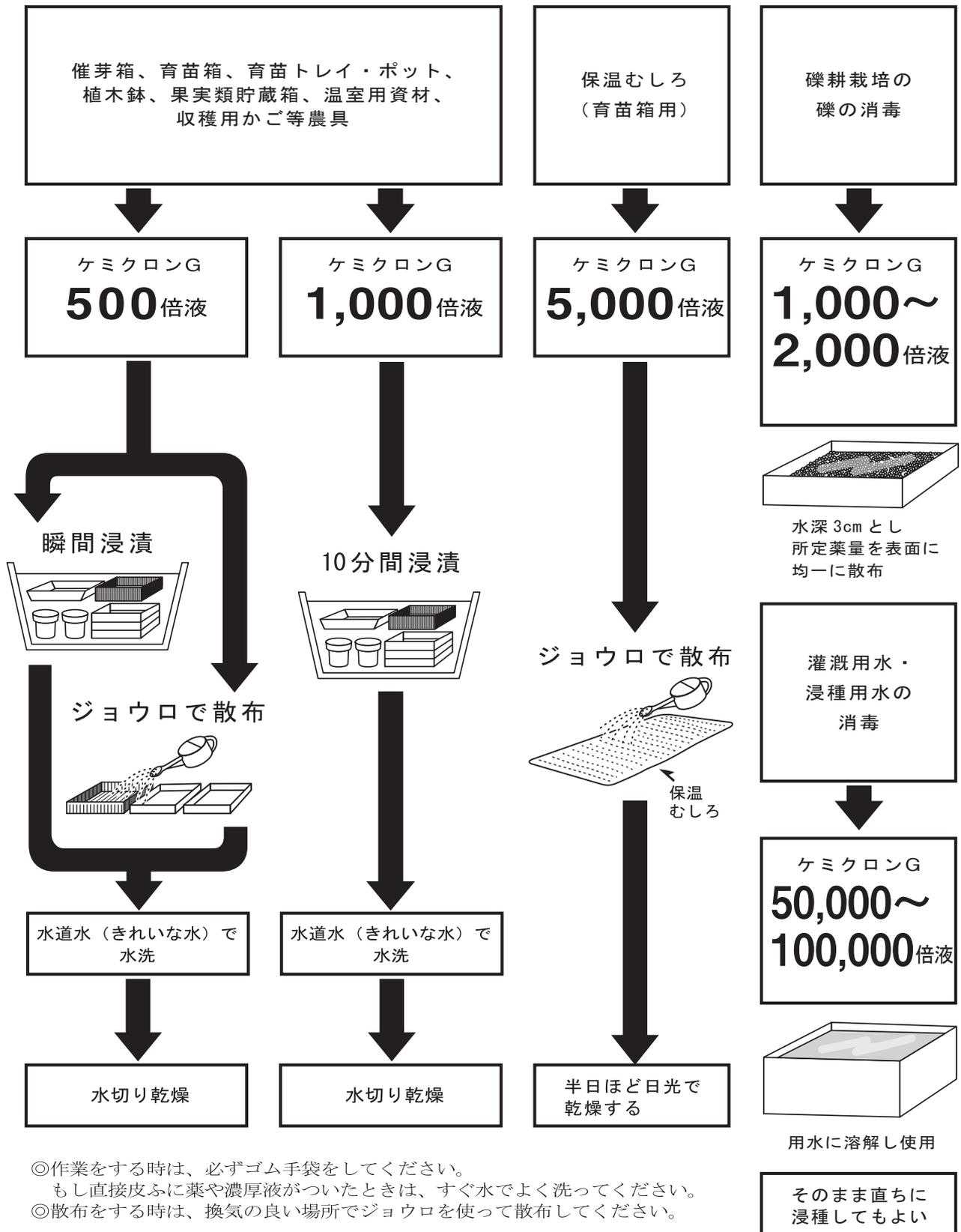
(2023年3月13日現在)

適用対象、使用目的		水10ℓ当り 使用量	希釈倍数 (倍)	使用方法
農業資材、 農具等	催芽箱、育苗箱、育苗トレイ・ポット、 植木鉢、果実類貯蔵箱、温室用資材、 収穫用かご等農具の消毒	10g	1,000	10分間浸漬
		20g	500	瞬間浸漬または ジョウロ散布
	保温むしろの消毒(育苗箱用)	2g	5,000	ジョウロ散布
	剪定用ハサミ等の消毒	20g	500	瞬間浸漬
	種いも切断刀の消毒	1kg	10	5秒間浸漬
培地	礫耕栽培の礫の消毒	10～5g	1,000～ 2,000	水深3cmとし所定 薬量を表面に均一 に散粒
農業用水	灌漑用水、浸種用水の消毒	0.2～0.1g	50,000～ 100,000	用水に溶解し使用

⚠ 使用上の注意

1. 使用の際は十分に換気した中で行ってください。
2. 本剤を水に溶解した時若干残渣がみられる場合がありますが、有効成分は十分に溶け出しています。容器はプラスチックのものを使用してください。
3. 金属類や木箱に使用した場合、必ずその後水洗してください。
4. 育苗トレイ・ポットを消毒する場合、薬害(生育障害)を生じるおそれがあるので、本剤処理後は必ず水洗してください。
5. 資材消毒に使用する本剤の希釈液は、使用時毎に調製して速やかに使用してください。
6. 浸漬の場合、薬液の汚れが甚だしくなったら新しく調製し直してください。
7. 礫耕栽培の場合、礫中の有機物を取り除き、表面を平らにし、水を礫面上3cmにし、全体の水量(全礫体積の30%を水量と計算)に対し1,000～2,000倍になるよう薬量を均一に散粒、軽く表層を攪拌してください。処理は夕方行い、一夜放置後翌朝礫層をよく攪拌し排水し、十分水洗を行ってください。
8. 農業用水の消毒は50,000～100,000倍とし、濃厚液が生育中の作物にかからないようにしてください。
9. 薬液を衣類につけると漂白されるのでご注意ください。
10. 本剤は強力酸化剤で、不用意に扱うと危険です。取扱い時の注意事項をよく守ってください。

農業資材の主な消毒方法



◎作業をする時は、必ずゴム手袋をしてください。
 もし直接皮ふに薬や濃厚液がついたときは、すぐ水でよく洗ってください。
 ◎散布をする時は、換気の良い場所でジョウロを使って散布してください。

△ 保管及び取扱い上の注意

●本剤は、強力な酸化剤で、安易に取扱うと発火その他の事故を生ずるおそれがあるので、下記の注意事項を必ず守ってください。

1. ケミクロン G の性質

- (1) 正常の状態では保管されている場合、安定です。
- (2) 水が混入すると、水和反応を起こして発熱し温度が上昇し、場合によっては急激な分解を誘発することがあります。
- (3) 薬剤自体は可燃性物質ではありませんが、機械油、グリース、ペンキ、シンナー、グリセリンなどや還元性物質（硫黄、木炭、ヒドロサルファイトなど）と接触すると、酸化発熱し、場合によっては、急激な分解、発火を誘発することがあります。
- (4) 各種農薬や化学肥料と接触すると、酸化発熱し、急激な分解発火を誘発します。

2. 予防策

- (1) 使用の際は、保護手袋、保護衣、保護メガネ、保護面等を着用してください。

3. 応急処置

- (1) 吸入した場合は、新鮮な空気の場所に移し、休憩させてください。直ちに医師の手当を受けてください。
- (2) 誤って飲み込んだ場合は、口をすすぎ無理に吐かせず、直ちに医師の手当を受けてください。
- (3) 眼に入った場合、直ちに流水で 15 分以上洗眼し、眼科医の手当を受けてください。
- (4) 皮ふや衣類に付着した場合は、直ちに払い落とし、水で洗い流してください。

4. 保管・取扱い

- (1) 直射日光が当たる所や小児の手の届く所には、保管しないでください。
- (2) 可燃物、その他の禁忌物質から離して保管してください。
- (3) 暖房装置、加温装置、モーター等の付近で温度が異常に高くなるおそれがある所には絶対保管しないでください。（長期間の保存には、30℃以下が望ましい。）
- (4) 雨がかかる所や湿度の高いところに保管しないでください。（吸湿すると凝固）

5. 廃棄

- (1) 一般のごみ箱、ごみ捨て場には絶対捨てないでください。
- (2) 本剤は水産動植物に影響があるので、使用した残液を捨てる時には必ず次のように処置してください。
 - 少量の液は、付近に影響を及ぼさない地面に、穴を掘って捨ててください。
 - 大量の場合、ハイポ（チオ硫酸ソーダ）又は亜硫酸ソーダ（日曹ノンクロエース）で、有効成分が残らないように中和してから徐々に排水してください。（中和する時は、本剤に対し、ハイポの場合は重量比 1 : 1 の割合で、亜硫酸ソーダで中和する時は重量比 1 : 2 で使用してください。）
 - 直射日光に 1 ~ 2 日さらし、有効成分の消失を確認してから徐々に排水してください。
 - いずれの場合でも、排水が養魚池等に入らないよう十分注意してください。

6. 参考事項

- (1) 処理液中の有効成分検知方法
 - DPD 法遊離残留塩素濃度測定器……当社販売
遊離残留塩素濃度に比例して桃赤色に呈色するので、標準色と比色測定する。